No.134　2023.2.1

いわみざわ市議会だより

当日の様子は市議会 YouTube ページに
公開していますのでぜひご覧ください。

令和４年１０月２１日に市役所本庁舎にて

岩見沢市議会議員と市民との意見交換会 を開催しました。

ご来場いただきました皆様、誠にありがとうございました。

今号の主な内容

■議会基本条例・他都市調査報告 …………… ２

■決算審査特別委員会・質問項目 …………… ３

■一般質問 ………………………………………… ４

■審議結果 ……………………………………… １１

■一問一答方式・編集後記 ………………… １２

令和５年４月１日施行

岩見沢市議会基本条例を制定しました

▶岩見沢市議会基本条例とは

岩見沢市議会の基本理念や活動原則等の基本的な事項を定めた条例で、議会運営に関する最高規範として位置づけられるものです。

▶条例の目的は？

この条例に基づいた議会運営を行うことにより、市民の負託に応え、市民福祉の向上と市政の発展に寄与することを目的とします。

▶条例の制定まで

令和３年３月	令和４年１０月	令和４年１２月
・条例制定に向け検討を開始	・条例の素案を作成 ・パブリックコメントを実施	・第４回定例会に条例案を提出 ・可決

▶条例の主な内容

・議会及び議員の基本理念
・議会及び議員活動の原則
・市民参加及び市民との連携
・議会と市長等との関係
・議員定数及び報酬等
・議会の機能強化　　　　など

▶条例の全文

岩見沢市議会基本条例の全文は市議会ホームページからご覧ください。

他都市行政調査　実施報告

報告書は市議会HPからご覧ください。

委員会	調査内容
議会運営委員会（１１月１６日～１１月１８日）	愛知県東海市にて「議会基本条例の検証方法について」 愛知県長久手市にて「議会基本条例に基づく議会運営」を調査しました。
総務常任委員会（１０月２６日～１０月２８日）	大阪府和泉市にて「地域公共交通について」 奈良県橿原市にて「地域公共交通について」を調査しました。
民生常任委員会（１１月９日～１１月１１日）	静岡県島田市にて「島田市立総合医療センターについて」 静岡県富士市にて「パートナーシップ宣誓制度について」 静岡県富士宮市にて「ごみダイエットプロジェクトについて」を調査しました。
経済建設常任委員会（１１月７日～１１月９日）	熊本県合志市にて「まちづくり会社について」 福岡県筑紫野市にて「地域コミュニティによるまちづくりについて」を調査しました。

決算審査特別委員会が設置され、審査が行われました。

議案第 58 号・令和３年度岩見沢市一般会計及び各特別会計決算の認定について
議案第 59 号・令和３年度岩見沢市病院事業会計決算の認定について
議案第 60 号・令和３年度岩見沢市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について
議案第 61 号・令和３年度岩見沢市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

第３回定例会で閉会中継続審査※と決定された、以上４案件の審査を行うため、10 月 18 ～ 21 日に決算審査特別委員会が開かれ、審査が行われました。４案件全てにおいて、認定・可決すべきと決定され、第３回臨時会でそのとおり議決されました。

（※閉会中継続審査：議会会期中に審議終了できず、付託を受けた委員会が議会閉会中に引き続き審査を行うこと。）

一般質問

第４回定例会において、市の施策の状況や方針等について、１４人の議員が市長、教育長などに対して一般質問を行いました。
紙面の都合上、要約し掲載いたします。

一般質問項目一覧 ※大項目のみ掲載

市民クラブ　峯 泰教　議員
1. シティプロモーションについて
2. 経済対策及び生活支援について
3. 令和５年度予算編成について

市民クラブ　増山 宣之　議員
1. 第６期岩見沢市総合計画について
2. 岩見沢市農業振興ビジョンについて
3. 児童・生徒健全育成における地域との関わりについて
4. コミュニティ・エリア構想について

無所属　太田 博之　議員
1. 岩見沢市新病院建設について
2. 岩見沢東高校と岩見沢西高校との統合について

政和会　野尻 清　議員
1. 定住自立圏の推進について
2. 地域包括ケア体制の充実について

政和会　石黒 武美　議員
1. 新庁舎使用上の課題について
2. 市職員の健康管理について
3. コロナ禍の中での対策について
4. 水田活用の直接支払交付金を含むコメ政策見直しについて
5. 酪農畜産業の振興について
6. 新病院の建設に向けた取組について
7. コロナ禍の中での不登校の子供たちの人数の推移と対応策について

公明党　猪口 満雅　議員
1. アピアランスケアについて
2. 燃油高騰の施策について
3. 通園バス置き去り防止について
4. 市内投票所の土足化について

政和会　日向 清一　議員
1. 特殊詐欺発生防止に向けた岩見沢市の取組について
2. 令和７年度に予定されている新しい高校づくりについて
3. 教員の働き方改革について

日本共産党議員団　山田 靖廣　議員
1. 幌向地区の生活環境改善について
2. 高齢化社会への対応について
3. 新型コロナウイルス感染症の下での教育行政について

市民クラブ　大坂 龍起　議員
1. 岩見沢市の教育推進について

みどりの会　河合 清秀　議員
1. 岩見沢市新病院建設工事基本設計について

市民クラブ　宮下 透　議員
1. 性的マイノリティへの理解の促進と支援について
2. 「こども基本法」施行に向け、当市の見解、施策への影響及び今後の取組について

公明党　斉須 正友　議員
1. 避難行動要支援者制度における個別避難計画について
2. 米の輸出における環境整備について
3. ヒトパピローマウイルスワクチンについて

日本共産党議員団　上田 久司　議員
1. 除排雪の充実について
2. 福祉灯油の実施等について
3. 会計年度任用職員への処遇改善等について

政和会　池島 和行　議員
1. 岩見沢市政についての市民への情報発信の取組について

市民クラブ
峯　泰教

シティプロモーションについて

── 彫刻「意心帰」設置の思い

【市長】新庁舎のエントランスホールに庁舎建設を記念して設置したモニュメントであり、パブリックアートとして芸術文化面での一体性が図れるよう、東山公園の市民の森広場に設置している彫刻作品「天秘」の作家、安田侃氏に制作を依頼した。

市の歴史やまちづくり、新庁舎のイメージ、来庁者が直接見て触れて愛着を感じていただけること、年月を経ても親しまれ続けることなど、私から直接思いを安田氏に伝えた。

末永く人々に愛され親しまれ続ける市役所のシンボルとして、岩見沢市の財産になるものと思っている。

── シティプロモーションの考え方と現状の取組

市の魅力をさまざまな媒体を活用して市内外に発信し、移住者の獲得や転出者の歯止めにつなげようとする事業として始まった。

平成30年度から令和2年度にかけ、主に子育て世代の女性をターゲットとしたラジオドラマを全道で放送し、アンケートではイメージ・認知度ともに向上しており、一定の効果があったものと考えている。

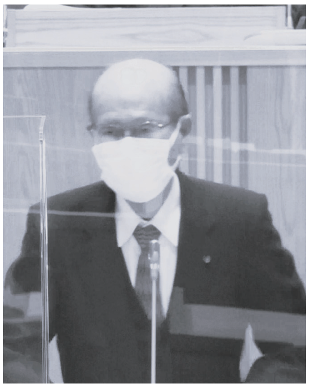
現在、市ホームページに当市の魅力を紹介・発信するサブサイトを作成し、札幌圏のGoogleユーザーにWEB広告を表示しており、月平均約3千100件のサブサイト閲覧数のうち約2千800件がWEB広告を通してのアクセスとなっている。

── 今後の取組

サブサイトに共感してくれた方々が当市の魅力をさらに推奨・拡散してくれるような仕組みづくりが重要である。市内外からのイベント参加者の増加・PRを図ることや、市内で活躍する人や移住者の声を紹介するなど、コンテンツの充実を図ることにより、効果を上げていきたい。

一般質問の録画映像をYouTubeで公開しています

一般質問：峯 議員



市民クラブ
増山宣之

「地域コミュニティの活性化」について

── コロナ禍における町会・自治会活動の現状

【市長】総会が書面会議、親睦事業が中止となるなど、活動が制約を受けており、地域コミュニティの希薄化を招く懸念がある。町会加入率を維持しながら、地域活動を途切れさせることなく、どのように継続していくのかが今後の課題になる。

近年の町会加入率はコロナ禍前の令和元年度に82・5％であったものが令和3年度で81・1％となっており、大きく落ち込んではいない。この水準を維持するため、各町会の役員などにより、新しく転居された方に対し、地道な勧誘活動が行われているほか、市の窓口において転入や市内転居の際に町会加入を促すチラシを配布している。また、町会連合会と連携して宅建協会にアパート入居者などに対する周知をお願いするとともに、北海道教育大学岩見沢校の新入生に対しチラシを配付し、町会加入促進の周知啓発を行っている。

── 今後の課題と活性化をどのように進めていくのか

令和2年度に町会・自治会活動の手引き～新型コロナウイルス感染症対策版を発行し、感染拡大の防止と町会・自治会活動の両立を図るための基本的な考え方を示した。通常の事業を行えないことから、防犯カメラを設置し、地域の安全・安心を高める取組を進めた地域もある。このような各地域での創意工夫による多様な取組に対しては、地域コミュニティ活性化事業交付金の活用が可能となっている。

コロナ禍における各町会が抱える問題は多岐にわたっており、各地域の実情・ご意見を伺いながら、課題の解決や地域コミュニティの活性化に取り組むとともに必要な支援を行ってまいりたい。

一般質問の録画映像をYouTubeで公開しています

一般質問：増山議員

岩見沢東高校と岩見沢西高校との統合について

無所属
太田博之

―東高の1間口削減から両高校の統合に至った、これまでの経緯と経過

【教育長】道教委が令和3年に公表した公立高等学校配置計画案で東高の1間口削減の方針が示された。市教委では、岩見沢市高校適正配置連絡会議を設置し、道教委に対し、間口削減の撤回と高校教育の在り方に関する協議内容に耳を傾け、魅力ある高校づくりを進めるよう要望した。本年、東高と西高の統合による6間口規模の魅力ある高校の設置を柱とした要望を行い、道教委より令和7年度に高校を新設する方針が示され、9月に正式決定された。

―現在の両高校における入学時のそれぞれの偏差値と新高校設立時の入学時偏差値水準及び医進類型の指定校

偏差値は公的機関が示しているものではないと認識している。医進類型は地域医療を支える人づくりの観点から道教委が指定するもので、医学部を目指す生徒に少人数指導を行うなど、きめ細かな学習支援ができるものと認識している。

―新高校の校舎概要及び道教委との今後の協議

配置計画で西高の校舎を使用する方針が示されており、充実した教育環境が整うことを期待する。道教委に対し、早い時期に新高校の方向性を示していただくよう調整しており、示された段階で連絡会議に報告し、必要に応じ要望を検討したい。

―魅力ある学校づくりと新時代に対応した高校づくり

時代の変化に柔軟に対応し、社会に貢献できる優れた人材を輩出する教育が重要である。進路実現を見据えた質の高い学びに加え、幅広い学習ニーズに応えることを期待する。

一般質問の録画映像をYouTubeで公開しています

一般質問：太田議員

地域包括ケア体制の充実について

政和会
野尻　清

―在宅医療と介護連携の現状

【市長】医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けていくためには、医療機関や介護事業所などの関係者との協働や連携を推進し、在宅医療と介護を一体的に提供することが必要である。

市ではこれまで、在宅で生活される高齢者の活動の場であるデイサービス事業所や、日中活動の場に加え必要に応じて一時的に宿泊することができる小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所や地域密着型の認知症対応型グループホーム等、将来の需要を見込みながら、高齢者のニーズに合わせたサービス提供体制の整備に努めてきた。また、地域の資源把握や普及啓発のための医療機関ガイドブック・介護保険事業所ガイドブックの作成、医療・介護の関係者との意見交換会や、地域住民への講演会の実施など、医療と介護双方の関係者にとって高齢者への支援が円滑に進む体制づくりに努めてきた。

―今後の取組

在宅医療・介護連携を推進する上で、医療と介護の関係者が顔の見える関係性の構築が大切であるため、引き続き、医療や介護の関係機関をはじめ、医師会・歯科医師会等の職能団体との合同・共同による研修会や意見交換会の開催、さらには在宅での看取りや入退院時に活用できるような情報共有ツールの作成・活用、入院から退院・在宅復帰を通じて、切れ目のないサービス提供が受けられる基盤整備の確保・強化に努め、地域包括ケア体制の充実を図っていく。

一般質問の録画映像をYouTubeで公開しています

一般質問：野尻議員

政和会
石黒武美

水田活用の直接支払交付金を含むコメ政策見直しについて

― JAで捉えている市内の交付金の対象とならない水田面積

【市長】昨年、国から令和4年度以降の5年間に一度も水稲の作付けが行われない農地は交付対象水田としない方針が示され、昨年12月にJAいわみざわ地域農業再生協議会において、今後5年間の水稲作付予定面積等調査を実施した。その結果、回答率91％のうち、今後5年間に一度も水稲作付けを行わない予定と回答した面積と畑地化を予定していると回答した面積の合計1千937ヘクタールが交付対象水田面積から除外される見込みの面積と考えている。

― 固定資産税の収入の減少額

田及び畑に係る固定資産税の平均価格を用いた単純計算で1千937ヘクタールの水田が全て畑となった場合、759万4千円の減収と試算した。

― 水田を維持するための支援事業

道の水田活用の直接支払交付金の見直しに係る関係機関連絡会議では、産地の実情を踏まえた対策を講じることや、産地交付金を含む水田活用の直接支払交付金制度の安定運用と必要予算の確保、畑作物などの本作化に向けた高収益作物畑地化支援を継続すること等、支援を求める提案書を本年9月に国へ提出した。

現在、国において、1か月以上湛水管理を行わなくても、水稲作付けを行う農地を交付対象水田とすることなどの議論がされており、今後、国から具体的な対応策が示されると考えているため、関係機関・団体と連携し、情報収集に努めるとともに、必要に応じて国・道への要請や対応策を検討し、本市の農業が維持・発展できるよう取り組んでいきたい。

一般質問の録画映像をYouTubeで公開しています

一般質問：石黒議員

公明党
猪口満雅

アピアランスケアについて

― アピアランスケアをどう捉えているか

【市長】がん患者に対しては、外科治療や放射線治療、化学療法等を組み合わせた集学的治療が行われることに加え、患者やその家族が抱える様々な苦痛に対する緩和ケアとして、治療法・薬の副作用・経済面など、身体・精神・社会的苦痛への多様なケアが行われている。その一環であるアピアランスケアについては治療を継続しながら社会生活を送るがん患者が増加している一方で、がんや治療による外見の変化等から、社会とのつながりを避けてしまう等、日常生活に大きな影響が出てしまう方もいることから、その必要性は高まっていると認識している。

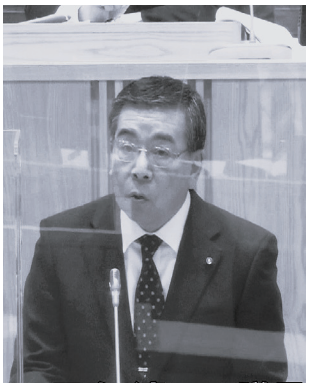
国においても、令和5年度概算要求の中で、がんとの共生に向けた相談支援の強化としてアピアランス支援モデル事業を盛り込み、患者に対し、研修を受けた医療従事者による情報提供や相談支援等を行い、効果的な支援体制を構築することを目的としたモデル事業の実施を要望していることから、これらの事業効果や国の動向に注視していく。

― 「医療用ウィッグ」の購入費用補助に関する市長の見解

医療用ウィッグや帽子、補正下着等による外見へのケアは、患者の精神的苦痛を和らげ社会参加を促す緩和ケアの一つと捉えている。しかしながら、個人の病状や体調は様々であることに加え、他の支援を要する患者のニーズや経済的負担も多種多様であることから、既に取り組んでいる自治体の情報を参考にするとともに、国や北海道の動向を踏まえその必要性について検討していく。

一般質問の録画映像をYouTubeで公開しています

一般質問：猪口議員



政和会
日向清一

令和7年度に予定されている新しい高校づくりについて

― 現時点で、岩見沢市教育委員会と北海道教育委員会の間でどのような協議が行われているのか

【教育長】公立高等学校配置計画において、検討中とされた学科に関することや、新設校の魅力を高める方策、教育環境の充実などについて意見交換し、道教委での検討をお願いしている。

― 岩見沢市教育委員会として道教委に申し入れしている内容

新設校の特色や教育内容が示された際には、岩見沢市高校適正配置連絡会議に報告し、ご意見をいただいた上で、必要に応じて具体的な要望をしていくことも想定しているため、まずは、新設校の学科やコースなどについて、早急に生徒や保護者がイメージできる形で示すよう申し入れしているほか、定時制課程の教育環境の充実についても具体的な検討をお願いしている。

現在、定時制の授業は、全日制課程の教室や机を使用しているが、授業開始よりも早い時間に来て、友達と交流したり、もしくは学びたいと早くから来たりする生徒の居場所がなかなかないという声がある。

このことから、全日制課程とは異なったエリアで、定時制の専用の教室や机を準備し、定時制の生徒がいつ学校に来ても友達と交流したり、もしくは勉強したりする環境を整えてほしいと要望している。

一般質問の録画映像をYouTubeで公開しています

一般質問：日向議員

日本共産党議員団
山田靖廣

高齢化に伴う認知症対応について

― 65歳以上の認知症患者の把握

【市長】令和4年3月末日現在、要介護・要支援認定者のうち、認知症の症状がある方は約2千900人であり、認知症が疑われる方の把握については、保健センターにおける脳イキイキ度チェック、認知症地域支援推進員による物忘れ相談会などを実施している。

― 市内の認知症専門医療機関

精神科や脳神経外科、もの忘れ外来、認知症外来などで認知症の診断を受けられ、当市では9つの医療機関が該当し、ガイドブック「認知症ケアパス」にも掲載している。

― 個人特定の工夫及びSOSネットワークと関係機関の連携等

個人特定は、衣服等に貼るQRコード付きのシールにより、捜索協力依頼メールを一斉に配信したり、靴やベルトなどにGPS機器を装着したりしている。

また、警察、消防、交通機関、医療機関、金融機関、町会、民生委員など、40の関係機関、団体で構成される岩見沢市認知症高齢者等SOSネットワークを組織し、行方不明となった高齢者等を保護し、適切な支援につなげる体制を整備している。

令和4年4月より、高齢者等が外出先で保護された後、家族へ連絡するため、身体的特徴の記載や顔写真を貼付し、届出を行う事前登録制度の運用を開始し、令和4年11月末日現在で17件の登録がある。

実績としては、高齢者の行方不明等は昨年度22人、過去3年間では合計93人で、そのうち認知症が原因と思われる方は73人と約8割を占めており、亡くなった方1人を除く92人の方が無事保護されている。

一般質問の録画映像をYouTubeで公開しています

一般質問：山田議員

市民クラブ
大坂龍起

岩見沢市の教育推進について

―教育長の基本的姿勢及び基本的考え方

【教育長】私が教員人生の中で、大切にしてきた言葉に「学は光、無学は闇」というものがあり、学びを通じてこそ、様々な物事を解き明かすことができ、自らの人生を輝かせることができるということを意味している。同時に、社会を望ましい方向へと導き、明るく希望のある社会をつくるために、一人一人の学びが重要であるということを表している。

　私は、小学校入学から高校卒業まで岩見沢で学び、その学びが現在の私の基礎をつくったと思っている。子供たちにも、学びを通じて岩見沢に愛着と誇りを持ち、社会の一員として豊かな人生を送ってほしいと強く願っている。

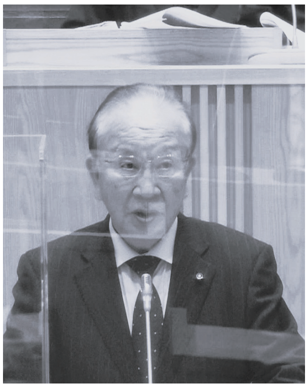
　学校教育においては、知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力など、学力の向上を第一に、教員の資質向上を図り、各学校の特色を生かした授業づくりを進める環境を充実させたいと考えている。

　また、現在全ての地域で設置されているコミュニティ・エリアの活動を実効性のあるものとし、地域と共にある学校づくりを進めることにより、それぞれの地域が、学校を核として変化と成長を感じることができ、ひいては、それがまち全体へと広がっていくことを目指していく。

　そのため、これまで教育委員会が取り組んできた「子どもが輝く岩見沢の教育づくり」「生涯にわたって主体的に学ぶ環境づくり」「誰もが笑顔で子育てできるまちづくり」に関し、より実効性のある方法を模索しながら、新たな時代を見据えた人づくり、まちづくりに貢献する教育施策を、教育行政と学校現場が一体となって、また、学校・家庭・地域が連携協働して進められるよう力を注いでいく。

一般質問の録画映像を
YouTubeで
公開しています

一般質問：大坂議員



みどりの会
河合清秀

岩見沢市新病院建設工事基本設計について

―新病院建設に当たり参考とした病院

【市長】地域によって医療需要や医療の供給体制が異なることから、特定の事例をモデルにしているわけではなく、新病院において新設・拡充する機能を中心に、道内外の先進的な19か所の病院を訪問し、施設や医療機能、運営面の特徴などを、基本計画を策定する上での参考とした。

―病院建設費

　基本計画段階における概算事業費は、総額344億円と見込んでいる。

―ＥＣＩ方式

　整備手法として決定したＥＣＩ方式は、設計段階から建設会社が施工予定者として参画し、仕様等の確定後に発注者と合意した価格で工事請負契約を締結する整備手法である。

　施工予定者の選定は、公募型プロポーザル方式により病院建設に関する豊富な知識・経験、質の高い建物を整備するための資質を有する事業者の選定が望ましいと考えている。

―ヘリポートの設置

　建設地である北海道中央労災病院用地は、騒音・航空法など課題もあるため、施設配置計画と併せて、敷地内もしくは近接地で離発着スペースの確保を検討していく。

―将来の人口減に対応できる設計

　医療の質的向上や南空知医療圏域内外の医療機関との連携強化を推進し、まずは病床利用率の低下を極力抑制するような経営努力に取り組んでいく。その上で、余剰施設の転用など有効活用も必要になると認識しており、設計段階において将来の機能変化に対応できる汎用性の高い施設整備に向けた検討を行う。

一般質問の録画映像を
YouTubeで
公開しています

一般質問：河合議員

市民クラブ
宮下　透

性的マイノリティへの理解の促進と支援について

― 理解の促進

【市長】啓発事業として、いわみざわLGBTセミナー、男女共同参画市民フォーラム、学校や市民団体からの希望に応じてまちづくり出前講座を実施している。

市民の認知度及び理解度は、4月に行った性の多様性に関するアンケートの結果では、性的少数者という言葉の認知度は97・3%で、理解度は82・5%であった。単純に比較できないが、令和元年度の調査では、言葉の認知度は80%、理解度は43・6%であったことから、理解が広まってきていると認識している。

― 岩見沢市パートナーシップ宣誓制度

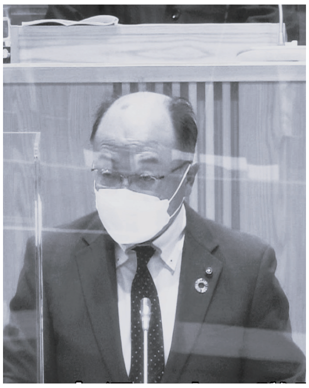
法律婚に規定されていないことにより、日常生活や様々な場面で生きづらさを抱えている性的マイノリティの方々の困難を緩和するとともに、性の多様性への理解が促進され、誰もが自らに誇りを持ち、自分らしく暮らせるまちの実現を目指し、本制度を導入したいと考えている。

― 教育現場における当事者への対応及び配慮と人権教育の現状

【教育長】相談があった場合には学校内にサポートチームをつくり、当該児童生徒が安心して充実した学校生活を送ることができるようサポートすることとしている。また、自認する性別の制服や衣服の着用を認める服装の選択や、職員トイレ・多目的トイレの利用を認めるトイレの利用、性の区別なく「さん」付けで呼ぶ呼称の工夫などに取り組んでいる。加えて、道徳教育の充実、傾聴・受容・共感を基本としたピア・サポートによる支持的・親和的学級づくり、人間関係づくりなど教育活動全体を通して、自らの大切さや他人の大切さを認めていくことが重要であることを実感できるよう指導している。

一般質問の録画映像を
YouTubeで
公開しています

一般質問：宮下議員



公明党
斉須正友

避難行動要支援者制度における個別避難計画について

― 運営上の課題

【市長】避難行動要支援者制度については、取組を始めた平成26年度末で7千649人であった対象者が、本年11月末現在で1万77人、2千428人の増となっており、今後も対象者は増加していく見込みである。

年々増加している対象者に対し、支援する側となる地域では、町会役員の高齢化や、役員等のなり手不足といった問題が大きくなっており、このような状況から、地域に無理がなく、要支援者の安全・安心を確保した避難支援の在り方について、現在、町会連合会並びに民生委員児童委員協議会と協議を進めている。

協議の中で、要支援者の情報が足りない、客観性がなく実態に相違があるといったご意見をいただいており、まずは要支援者の身体の状態や、居住地が浸水想定区域にあるかなど、より細かな調査を行うとともに、町会や民生委員からも意見をいただいたうえで、要支援者個々の支援方法などを検討し、必要な支援の明確化を図り、地域の限られた人員で、効率的な支援ができるよう取組の改善を行う予定としている。

さらにこれまでは、一度、情報提供に同意された方の再調査は行っていなかったが、今後は既存同意者の調査も2年に一度行い、定期的に更新された情報を地域に提供するよう考えている。

今後においても、引き続き、町会連合会並びに民生委員児童委員協議会と協議を進め、必要な改善を図りながら、支援者となる町会や民生委員に無理がなく、要支援者の安全・安心を確保できる取組の構築に努めていく。

一般質問の録画映像を
YouTubeで
公開しています

一般質問：斉須議員

日本共産党議員団
上田久司

除排雪の充実について

―間口除雪

【市長】新雪除雪については通勤・通学に合わせ、午前7時までに終えるよう深夜から作業しているが、掻き分け除雪だけでも5時間から6時間ほど要する。また、道路の幅が狭く除雪車が通れるスペースしかなくなる箇所もあり、雪が増えるに従って、作業時間が長くなるだけでなく、スペースも一層狭くなるため、除雪に合わせて間口への置き雪を処理することは現実的に困難である。なお、路面整正の場合には大きな塊を間口に置かないよう配慮をしている。

また、町会等除雪ボランティア支援事業にて、高齢者や障害者等の除雪作業を実施しており、令和3年度は166町会で1千213世帯の支援を行った。また、社会福祉協議会の除雪ボランティアでは、令和3年度は23件の支援、延べ66人のボランティアが活動されたと報告を受けている。

さらに、地域の方々のボランティアによる除雪のほか、置き雪の処理を自力で行うことが難しい高齢者や障害者等を支援するため、平成30年度から高齢者世帯等冬のくらし支援事業を創設し、間口除雪や屋根の雪下ろし、定期排雪に要した費用の一部を助成するとともに、市職員による豪雪パトロール、支援も行っており、安全安心確保に努めている。

町内の雪捨て場・空き地の確保については、民地内の雪を搬入している場所も多いことから、原則、土地所有者との交渉は町会が主体となって行うこととしており、道路の雪に限定し、かつ道路除雪の作業上、雪を押し込む必要がある場合は地域雪堆積場として確保しているため、市が地域雪堆積場とは別に、間口除雪のために空き地を確保する考えはない。

一般質問の録画映像を
YouTubeで
公開しています

一般質問：上田議員

政和会
池島和行

岩見沢市政についての市民への情報発信の取組について

―SNSを活用した市民目線での情報発信

【市長】市政情報や、様々なお知らせを、広報いわみざわをはじめとした紙媒体や、FMはまなす、地デジ広報などのメディア、市ホームページ、さらには、Twitter・Facebook・LINEなどの各種SNSを活用しており、SNSによる情報発信はタイムリーに正しい情報が伝わり、市ホームページで詳細情報を閲覧できる現在の発信方法が最適であると考えており、迅速かつ正確で伝わりやすい情報発信に努めている。

なお、各種SNSで、運用ポリシーを定めており、ご意見等へは原則、返信しないこととしているが、今後、それぞれのSNSで期間を定めて、情報発信に対するご意見・ご要望を伺う利用者アンケートの実施を計画しているので、その結果を踏まえ、それぞれのSNSの特性を考慮し、発信内容を工夫した情報発信への改善を進めていく。

―SNSの利用者数の推移及び利用者数を増やす取組

Twitterは平成24年8月より、Facebookは同じく平成24年の11月より運用を開始し、12月8日現在のTwitterフォロワー数は6千993人、Facebookのフォロワー数は2千261人となっている。また、7月より運用を開始したLINEは、約5か月で2千254件の友だち追加をいただいている。それぞれ、導入時にはプレスリリースなどでPRを行い、広報いわみざわには登録方法等を定期的に掲載しているほか、転入者向けのガイドブック「いわみざわ暮らしナビ」へ登録用のQRコードを掲載するなどの取組を進め、今後も様々な機会を捉えて各SNSの利用の周知を図ってまいりたいと考えている。

一般質問の録画映像を
YouTubeで
公開しています

一般質問：池島議員

令和４年第３回臨時会（１０月２４日）審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第 58 号	令和３年度岩見沢市一般会計及び各特別会計決算の認定について	認定
議案第 59 号	令和３年度岩見沢市病院事業会計決算の認定について	〃
議案第 60 号	令和３年度岩見沢市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
議案第 61 号	令和３年度岩見沢市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	〃
議案第 63 号	令和４年度岩見沢市一般会計補正予算について（第８号）	原案可決
議案第 64 号	令和４年度岩見沢市水道事業会計補正予算について（第１号）	〃

令和４年第４回臨時会（１１月１４日）審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第 65 号	令和４年度岩見沢市一般会計補正予算について（第９号）	原案可決
議案第 66 号	教育委員会の教育長の任命について【吉永洋氏】	同意

令和４年第４回定例会（１２月５日▶１２月１６日）審議結果

議案番号	件名	審議結果
請願第１号	加齢による難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度について	不採択
議案第 67 号	岩見沢市パートナーシップ宣誓制度の導入のための関係条例の整備に関する条例の設定について	原案可決
議案第 68 号	一般職員の給与に関する条例等の一部改正について	〃
議案第 69 号	岩見沢市議会議員及び岩見沢市長の選挙における選挙運動費用の公費負担に関する条例の一部改正について	〃
議案第 70 号	岩見沢スポーツセンター条例等の一部改正について	〃
議案第 71 号	財産の処分について	〃
議案第 72 号	豊正地区自治会館等の指定管理者の指定について	〃
議案第 73 号	岩見沢市ワークプラザの指定管理者の指定について	〃
議案第 74 号	岩見沢市北村環境改善センター及び岩見沢市北村トレーニングセンターの指定管理者の指定について	〃
議案第 75 号	岩見沢市総合体育館、岩見沢市野球場、みずほ公園野球場、みずほ公園サッカー場、あさぎり公園野球場及びあさぎり公園庭球場の指定管理者の指定について	〃
議案第 76 号	岩見沢市北村多目的体育館及び土里夢公園パークゴルフ場の指定管理者の指定について	〃
議案第 77 号	岩見沢市民会館及び岩見沢市文化センターの指定管理者の指定について	〃
議案第 78 号	令和４年度岩見沢市一般会計補正予算について（第１０号）	〃
議案第 79 号	令和４年度岩見沢市特別会計国民健康保険費補正予算について（第１号）	〃
議案第 80 号	令和４年度岩見沢市特別会計高等学校費補正予算について（第２号）	〃
議案第 81 号	令和４年度岩見沢市病院事業会計補正予算について（第１号）	〃
議案第 82 号	岩見沢市議会基本条例の設定について	〃
諮問第６号	人権擁護委員の候補者の推薦について【畑孝子氏】	同意
諮問第７号	人権擁護委員の候補者の推薦について【佐藤恭二氏】	〃
意見書案第７号	帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化について	原案可決
意見書案第８号	知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充について	〃

編集・発行：岩見沢市議会広報広聴委員会 〒068 - 8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号 Tel. 0126 - 35 - 4907

各議員の議案に対する賛否の状況（賛否の分かれたもの）

会派名	市民クラブ											政和会					共産		公明		み	無
議案名 ＼ 議員名	伊澤幸信	増山宣之	豊岡義博	峯泰教	平野義文	武田貞行	大坂龍起	木村光宏	越戸正樹	篠原藤雄	宮下透	野尻清	池島和行	日向清一	古石英仁	石黒武美	上田久司	山田靖廣	斉須正友	猪口満雅	河合清秀	太田博之
議58）令和３年度岩見沢市一般会計及び各特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
議65）令和４年度岩見沢市一般会計補正予算について（第９号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	議長※	×	×	○	○	○	○
請　1）加齢による難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度について（不採択とすべきとする民生常任委員会の報告に対して）	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議長	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○

※議長が欠席のため、副議長の石黒武美が議長の職務を代行しました。

第４回定例会までに提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配付されました。

- ■ 生産資材高騰に関する要望書について
- ■ 農業生産資材高騰対策対応について（２件）
- ■ 学校教材（備品）の計画的な整備推進について
- ■ 子どもの新型コロナウイルス感染症対策緩和を求める意見書について
- ■ 小規模企業振興対策予算の拡充に関する意見・要望について
- ■ 令和５年度税制改正に関する要望について
- ■ 令和５年度税制改正に関する提言について

一問一答方式を導入しました。

岩見沢市議会では、これまで一般質問を「一括質問一括答弁方式」で行っていましたが、論点や争点を明確にし、市民の皆様により分かりやすい議会となることを目的に、令和４年第４回定例会から、「一問一答方式」を新たに加えました。

「一問一答方式」の詳細は
市議会ホームページから
ご覧ください。

「一問一答方式」の様子は
市議会 YouTube ページから
ご覧ください。

編集後記

広報広聴委員会委員　宮下　透

本誌に掲載のとおり「議会基本条例」が議員全員の賛成で設定されました。「基本理念」を胸に刻み、より一層、皆様の負託に応えうる議会になるよう取り組んでまいります。

新庁舎になり１年。真新しい議場で定例会４回、臨時会４回、他委員会を開催し、市民生活に直結する議案を審議してまいりました。令和５年も引き続き市民本位の議論を展開するとともに、皆様に議会だよりをはじめ、ホームページや SNS 等で分かりやすい広報活動の充実に努めてまいります。

［委員長］武田貞行　［副委員長］池島和行
［委　員］越戸正樹　峯　泰教　宮下　透　日向清一　山田靖廣
猪口満雅　河合清秀　太田博之

議会の傍聴について

本会議と委員会は、傍聴することができますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスク着用等のご配慮をお願いいたします。なお、体調不良の方はご遠慮ください。

※ご不明な点は議会事務局までご連絡ください。
議会事務局
Tel 35 − 4907

市議会の詳しい情報は、岩見沢市議会のホームページをご覧ください。　岩見沢市議会